

シムラユウスケが柴町をモチーフにオリジナルで描いた
アートエレベーターが故郷の柴町を彩る!



安食駅前エレベーターオープニングイベント
3月19日(日) AJIKI artstage opening artevent "circle"

アートエレベーター完成にあわせ、オープニングセレモニーが行われました!シムラユウスケ氏によるサインが直接エレベーターに描かれてスタート!完成したアートエレベーターをシムラユウスケがナビゲート。作品のコンセプト、隠れキャラクターを描いていたりと交流しながらアーティストとの時間を共有。オリジナルグッズや柴町の物産、アートカフェ TOAST AND HONEYも安食駅に登場しました。ワークショップでは柴町の閉校になった小学校、中学校の土を用意し、記憶の花壇を作成。安食駅前がアートイベント一色になり話題沸騰中!
*エレベーターに描かれたシムラユウスケの柴町限定の絵柄缶バッジが登場!会場以外でTOAST AND HONEYでも取り扱い、ご購入いただけます。



アートエレベーター制作、クレーン車で設置。
次号にて詳細をインタビューします。



オープニングイベント会場インタビュー

- ① 大きなアート作品に変身したエレベーター!感想を教えてください!
- ② カラフルな絵で包み、エレベーターの中には子どもたちの絵。感想は?
- ③ アート作品が次々に完成していく柴町がどんな町になってほしいですか?
- ④ あなたにとってアートとは?

①ふわりがいっぱい!赤いマントをつけて可愛かった。隠れ枝豆もカラフルになって前よりも可愛くて楽しいエレベーターになってよかった。②カラフルで楽しい町になって、みんなに柴町のエレベーターを知ってほしい!④人が思いつかないアートを考えて人に観てもらったり、喜んだり、楽しくワクワクさせる絵を描いて世界に広める。

①あのシムラユウスケさんがまさか柴町出身だとは知りませんでした!ポップで明るくて自由なアート作品です!②色使いがとてもキュート。狭い空間が開放的に感じられた。③アートがあることでコミュニケーションが活発になって、人と人の新しいふれあいと笑顔が増えたらいいと思う。豊かな自然や古墳などが残るこのエリアに「アート」という新しい光が当たることで、ワクワクするような夢がたくさん膨らんでいったら最高ですね!④対話であり呼吸、そして今であり未来だと思う。

①彼の描くキャラクター達が、大きなキャンパスの中を自由に飛び回っている印象でした。エレベーターに乗ったらその世界に入り込んでいけそうで、思わず乗ってみたいですね。②これは何を書いた絵なのかな?と思いつつも、自分の絵を眺めていると、自分の中にある柴町の風景や思い出が浮かんできて、それぞれの絵と重なっていききました。今の子供も違も、自分と変わらぬものを見たり感じたりしているんだな、と思いました。③長い歴史のある町なので、これまでの伝統や慣習は守られつつ、アートや自然がうまく共存し、住む人や訪れる人に安らぎを与えてくれるような町になって欲しいと思います。④その作品より受けるものから、自分自身の中に何かが生れたり、何かヒントをくれたり、そういう役割を果たしてくれるものだと思います。

ふわりの森が空港圏に広げる現代アート
JR 成田線 安食駅前にアートエレベーターが誕生!

本誌連載特集中の成田空港圏初の現代アートプロジェクト「ふわりの森」。国内外で活躍するアーティスト、シムラユウスケ氏が描くランドアートとして手がけ、空港を囲む地域にアート作品が次々に誕生している。新作はシムラユウスケ氏によるアートタワー!JR成田線 安食(あじき)駅で柴町とシムラユウスケがコラボレーションし、エレベーターをそのまま絵で包み話題沸騰中!4月号では柴町の子どもたちが完成した作品をレポートします!世界にひとつしかないアートエレベーターで美術館、さぁ楽しみましょう!安食駅へ!

さあ。
エレベーターに
乗ってみよう!

エレベーターの中にも絵があるね!楽しい!

あ!柴町の土器が絵に
なってる!!

DREAMING!柴町の
子どもたちの夢の絵
だね美術館みたい!

赤いマントをつけた白
いうさぎ「ふわり」だね!

ユーチューバーに
なりたいう子がいるね!

お洋服のデザインだ!
色が綺麗、着てみたい!

無限大で面白い。
アートがたかさん、わたしのもの。

あった!
わたしの絵

シムラさんと描いてた
絵だ!英語だね

世界にひとつだけ!
アートエレベーター!
みんなの美術館に
なってるよ!

おつきくて可愛い♡
わへい、完成~!!!

最後はみんな一緒にシムラさんと記念撮影。

今回、このエレベーターを使った現代アート作品を手がけたアーティストシムラユウスケとは?



シムラユウスケ PROFILE
1981年生まれ。現代アートの新しい担い手として、写真、ドローイング、インタラクティブアートを国内外で発表し、国内2都市のアップルストアによるシムラユウスケ特集、雑誌「TOKION」のニューヨーク特集、「装苑」の国内外で活躍する次世代の6人に取り上げられるなど様々なメディアから注目を集めるアーティスト。東京、ニューヨークを拠点に PORTER (吉田カバン) との「YUSUKE SHIMURA TOKYO NEWYORK supported by YOSHIDA&CO.」をはじめ、北欧、中東、アジアでの制作、作品を発表。2014年には海外に加え幼少期から育った国内(千葉県成田市・柴町)に拠点をもち、成田国際空港を中心に広がる大自然をフィールドに空港圏初の現代アートの拠点「ふわりの森アートプロジェクト」をスタートする。空港圏 NARITA 初の現代アート拠点「ふわりの森」のプロジェクトディレクター、SAKANAO139 記憶美術館、AIS 記憶美術館 館長、2020年 空港都市国際芸術祭「ふわりの森 ARTPARADE」の総合ディレクターを務める。2017年にはミラノコレクションでファッションブランドとのコラボレーション発表。現在リーボックとのプロジェクトなど注目を集めている。
www.yusukeshimura.com

JR成田線を使って現代アートのある駅に行ってみよう

安食駅 → Narita

安食駅でアートエレベーターに乗って、下総松崎でゆっくりとハンドドリップのスペシャルティコーヒー飲んでアートを満喫。JRですぐ行けるアートコース!

←Tokyo



アートシーンのこれからを予見するオルタナティブなアートフェア
東京のド真ん中で開催された「3331 Art Fair」特別企画トークにシムラユウスケが登場!



詳しい情報はHPにて
www.fuwarinomoriart.jp

NEXT! ロク5月号予告 アートエレベーターの制作に迫る! 2020年 空港都市国際芸術祭に繋がる記憶のアート